



統語・意味解析コーパスの開発と言語研究
Development of and Linguistic Research with a Parsed Corpus of Japanese

Japanese

English

[トップ](#)

[研究成果](#)

[リンク](#)

[お問い合わせ](#)

[お知らせ](#)

「まとめと将来の展望」

プラシヤント・パルデシ
国立国語研究所

ワークショップ5@日本言語学会第153回大会於福岡大学(2016年12月4日)

まとめ

- 👉 このワークショップでは、日本語初の統語・意味解析情報付きコーパスのアノテーション法や意義について議論した
- 👉 **本コーパスプロジェクトの最大の課題**→これまでに蓄積されてきた文法研究の成果をどのようにしてコーパスとして盛り込むか
- 👉 日本語研究者の皆さんからそれぞれの観点からの**アドバイスを是非いただきたい。**

まとめ

- ☞ 本コーパスは日本語文法研究者や言語処理研究開発に取り組む人々の他に、日本語教育に携わる人々によっても使われることが想定される。
- ☞ これら広範囲の人々には本コーパスを使った上で、私たちコーパス開発者へのフィードバックを求めたい。

将来の展望

👉 NPCMJ構築に関して

- アノテーション方式の改良・精密化
- コーパスのサイズ + ジャンルにもバリエーション
- レンマ情報やマクロ
- ローマ字表記や英訳
- 否定、モーダル要素および量化表現における
スコープ情報
- PropBank (Bonial et al. 2010) 方式の格フレーム
情報...など

将来の展望

👉 インターフェース開発に関して

検索の様々な方法を模索し、インターフェースの開発・改良を進める

→使いやすさを追求

👉 コーパス活用ノウハウ(知識・経験)の共有
大学などで講習会(チュートリアル)などの実施
→コーパスに基づく言語研究に貢献

ありがとうございます！ Thank you very much !
감사합니다 謝謝 धन्यवाद ! شکریہ Спасибо

あ り が と う

